

中 学校再編成計画案への説明責任について



瀧澤 征幸 議員

【質問】 上郷町羽場地区は未舗装が90%であり、市道路線の認定に伴い、優先して舗装改良する必要があるのではないか。

【市長】 同地区の道路は、ほとんどが集落に密着・関連した路線であり、現在進めている「生活に身近な道づくり」計画の見直し等により整備していく予定である。

【質問】 中学校再編成の進め方について、教育委員会と住民とではかなりの温度差を感じるが、市民の不安を解消し、計画を進めるため、説明責任を果たすべきと思うが。

【教育長】 中学校再編成計画は現在の多くの中学校が抱えている免許外指導教科の恒常的な発生、少人数によるクラス替えのない9年間などの生徒指導上及び学校経営上重大な課題を改善し、より良い教育環境の確保を目指したものである。特に、免許外指導教科について、免許を所有する教員の確保が難しい場合も考えられるが、県教委に対して免許を所有する講師配置を求め、それでも配置されないときは、市独自で講師等を雇用して対応する考えを明確に計画案で示している。また、スクールバスの通学時間について、実は1時間以上かかったという検証結果の話もされたが、スクールバスの運行経路を示すにあたっては、計画案上で再編成時期としている平成23年度時の生徒、つまり現在の小学校4年生から6年生の住所状況に基づいて、乗車人数、運行距離や時間を、実地調査により作成したものである。運行時間は、停留所ごとに、乗車人数に応じた所要時間を追加し、冬期間の道路状況を加味しながら、時速30km台の無理のない速度で測定したもので、1時間以上かかるような地域は発生していない。

今後は、対話を基本に、市民の合意形成に取り組む。



▲説明責任を果たし、市民との合意形成を

農 業振興について



伊藤 庄吉 議員

【質問】 農協の加工施設の廃止に伴い生産農家は迷っている。

【市長】 昨年11月に発生した殺菌不足による飲料の自主回収により、農協の加工所は停止になっているが、再開には大規模改修と多額の費用と一定期間を要する。21年度中に利用農家の意向を踏まえ、JA・市・生産者の三者

で検討し、22年までには再開する。

【質問】 健康食材として雑穀の需要が高まっているが、栄養の面からも良い傾向だと思っている。地元の一部の人々でモチ稗を栽培したが加工施設がなく、生産者が途方に暮れている。市が所有している水車が利用できないか。

【市長】 近年国内において健康食材として雑穀の需要が高まっている。当市での雑穀の取り組みは個人が主で規模は小さい。産直等での販売が中心である。機械化が確立されていないので、作業体系の確立と検証が必要である。又、水光園などにある水車等を利用すれば観光振興にもなる。

【質問】 木工団地は遠野産材の販路に期待をこめてできた施設である。この団地もオープンして早15年になるが課題が山積している。自由主義のもと、市場原理のもとに価格の下落を起し、厳しい経営を強いられている。地元産である木材産業をより発展されなければならない。今年住宅販売が100万戸から70万戸に下がるといわれている。また、機械の更新が近づいている。隣町では7億強もの支援をし、取組んでいる。当市としても支援を検討してみてはどうか。

【市長】 市としては職員を配置して市の林業振興及び木工団地内事業体の活動支援をさらに強化していく。機械の更新については原則として補助事業の導入は難しい。各事業体の自助努力で行うことになる。



▲遠野産材のより一層の販路拡大を